

です。

46:1 イスラエルは、彼に属するものすべてと一緒に旅立った。そしてベエル・シェバに来たとき、父イサクの神にいけにえを献げた。  
46:2 神は、夜の幻の中でイスラエルに「ヤコブよ、ヤコブよ」と語りかけられた。彼は答えた。「はい、ここにおります。」  
46:3 すると神は仰せられた。「わたしは神、あなたの父の神である。エジプトに下ることを恐れるな。わたしはそこで、あなたを大いなる国民とする。  
46:4 このわたしが、あなたとともにエジプトに下り、また、このわたしが必ずあなたを再び連れ上る。そしてヨセフが、その手であなたの目を閉じてくれるだろう。」  
46:5 ヤコブはベエル・シェバを出発した。イスラエルの息子たちは、ヤコブを乗せるためにファラオが送った車に、父ヤコブと自分の子どもたちや妻たちを乗せた。  
46:6 そして、家畜とカナンので得た財産を携えて、ヤコブとそのすべての子孫は、一緒にエジプトにやって来た。  
46:7 彼は、自分の息子と孫、娘と孫娘、すなわちすべての子孫を、一緒にエジプトに連れて来た。

エジプトは、アブラハムやイサクの代から異教の地であり、様々な危険があったことをヤコブは父からも聞かされていたはずですから、エジプト行きを恐れるのも当然です。神様もイサクにはエジプト行きを禁止されました。しかし、重要なのは今の神様のみこころです。神様はヤコブに恐れるなど、安心させて導かれますが、これは私たちにも同じです。ヤコブは恐れに対しては主を第一にするべきと考え、礼拝しました。これもまた私たちがすべきこと

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

